

南仏治安情報（2011年11月）

■プロヴァンス地方

1. 二輪車の盗難が増加、5人に1人が被害に

当地方でのスクーターやバイクなど二輪車の盗難事件が、2011年1月～10月で3010件を数え、昨年同時期に比べ12%の増加を見せてています。フランス国内で発生するバイク盗難の5分の1は当地方で発生し、所有者の5人に1人が被害に遭っている状況です。車両ごと盗むケースの他、駐車中のバイクから部品のみを取り除く手口も発生しており、盗難被害に遭わないようするには相応の対策が必要となっています。メーカー側は万が一盗まれた際のためGPS機能のついた部品を取り付ける方法なども検討中です。

2. 小型商店を狙った連続強盗事件が頻発

11月にはマルセイユ、Aubagne、La Ciotatなどで地方紙が報じただけで25件の強盗事件が発生しました。11月上旬には2～4件連続して事件が発生しており、それぞれ同じ犯人グループによる犯行と見られています。内8件は宝石店、4件はタバコ屋への犯行で、年末に向け今後も増加することが予想されます。閉店間際などのご利用は十分ご注意ください。

3. 盗難車および麻薬の密売グループを逮捕

11月中にMarignanの港で、アフリカへ輸送するコンテナの中から盗難車、盗難スクーター、自動車部品（被害総額計45万ユーロ）およびカナabisが発見され、36歳と47歳の男が逮捕されました。これまでに少なくとも30人の被害者が特定されている他、警察は今後も取調べを続けて窃盗への関与者や密売ルートなどを明らかにしていく予定です。

4. 現金引出機窃盗の新たな手口が出現

現金引出機のカード挿入口に仕掛けをつけてカードを飲み込ませる手口は、20年近く前にマルセイユで生まれたため「マルセイユの罠」と呼ばれていますが、11月下旬に新たな仕掛けで現金を盗もうとしたハンガリー出身の男が逮捕されました。この男は現金引出口に糊をつけた棒を取り付け、カードだけでなく現金も巻き取っていました。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 少女グループによる暴力事件の発生

11月14日カーニュ・シュル・メールの高校前で、12～15歳の少女グループにより通行中の高校生が罵られたり、殴る蹴るなどの暴力を受ける事件が発生しました。グループの一部は付近に停車中のバス内でも無差別に運転手や乗客に暴力を振るっており、内3人が逮捕されました。同様の事件は半年前にニース市でも起きており、近隣市民の不安が高まっています。

2. 強盗事件対策のパトロール強化が開始

クリスマスに向け買い物客で賑わう季節には、商店の在庫が多いため強盗事件が多く発生する傾向にあります。それを受けアルプ・マリティム県では11月21日より警察のパトロール強化を始めました。特に宝飾店やタバコ屋などの商店周辺が警戒されており、目撃した場合は速やかな通報が強く求められています。

3. 煙突清掃業者を偽った詐欺事件に注意

11月に入り偽の煙突清掃業者による詐欺事件・暴力事件が発生しています。主に高齢者宅に取り入って作業に対して法外な値段を請求し、被害者が拒否した際には暴力を加えるなどして脅迫するケースにまで発展しています。同様の詐欺事件はミディ・ピレネー地方でも多く見られていますのでご注意ください。

4. コルシカ島での殺人事件の発生

コルシカ島では11月8日から9日の24時間内に、殺人事件2件、殺人未遂2件、カージャック1件、爆発テロ事件1件が連続して発生しました。2011年1月から11月までに、島内で計31件の殺人事件が起きており、多くは権力者やその近親者を狙ったグループ間抗争によるものと見られています。流れ弾による死者も2名出ており、警察は警戒を強めています。

■ミディ・ピレネー地方

1. オート・ガロンヌ県の空き巣被害が急増中

11月上旬トゥールーズ市内で、連続空き巣狙いの31歳から43歳の3人組の男が逮捕されました。このグループは当地方の各県で起こった計21件の空き巣に関与しており、余罪や犯行手口など今後も取調べが続けられます。Haute-Garonne県は空き巣件数がHérault県、Isère県、Garonne県に次いでフランスで4番目に多く見られており、注意勧告が出されています。

2. トゥールーズ市などで武器を用いた強盗事件が発生

11月には地方紙が報じたものだけでも10件（内6件はトゥールーズ市内）の武器を用いた強盗事件が発生しました。薬局、タバコ屋、美容室などの小型商店や銀行が狙われ、犯行は閉店間際の19時頃に多く発生しています。中には人質をとって店員を脅迫するケースもありますので、閉店間際や夜間などには注意をするようにしてください。

3. 外国人観光客を狙った偽警察官による盗難事件の発生

ここ数ヶ月に渡り、高速道路A9の休憩所や道路脇などで、警察の取調べを偽り現金やカードなどを抜き取る窃盗の被害が発生しています。Policeと書かれた帽子と制服を身に着けたこの詐欺グループは、外国人観光客を狙って運転免許証と身分証明書の提示を求め、被害者の財布を調べるふりをして犯行に及んでいます。ご注意ください。

4. 発がん性物質を含む調理器具を回収

11月にPortet sur Garonneの税関で、フライ返しなど55000本の中国製の調理器具が回収されました。プラスチック製のこれらの器具には申告された原材料とは異なる、規定の100倍近くに相当するポリアミドやメラミンなど発がん性物質が使用されていました。調理器具のほか子供用の玩具などに対する取り締まりも今後強化される予定です。

* 以上の治安情報は、当地方紙等から得られた情報に基づくものです。